

「世界初の水素ホテル」が燃料電池ユニットを更新し、水素発電を継続します！

「世界初の水素ホテル」川崎キングスカイフロント東急REI ホテル（以下、「東急REI ホテル」という。）は、水素燃料電池ユニットを更新し、**2023年1月から再び「水素ホテル」として水素発電を行うこと**を決定しました。

本市では、水素エネルギーの積極的な導入と利活用による「未来型環境・産業都市」実現のため、平成27年3月に「水素社会実現に向けた川崎水素戦略」を策定するとともに、その具体化及び先導的なモデルとなるプロジェクトとして、8つのリーディングプロジェクトを創出し、企業や国等多様な主体と連携して推進しております。

昭和電工株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋 秀仁、以下「昭和電工」という。）が東急REI ホテルと共に実施した「水素の地域循環型水素地産地消モデル」の実証事業は、上記リーディングプロジェクトの一つであり、「世界初の水素ホテル」として象徴的な取組です。これは、環境省の「地域連携・低炭素水素技術実証事業」として、昭和電工が実用化した世界で唯一のプラスチックケミカルリサイクル施設を有効活用し、地域で発生する使用済みプラスチックから低炭素水素を製造、水素パイプラインで東急REI ホテルに直接送給し、ホテル内の約30%の電力を水素で賄うことでCO₂の削減に貢献するというもので、令和3年度末、成功裏に終わりました。

この度、株式会社東急ホテルズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：村井 淳、以下「東急ホテルズ」という。）は、運営する東急REI ホテルにおいて、環境省の「脱炭素社会構築に向けた再エネ等由来水素活用推進事業」「水素サプライチェーン社会実装支援事業」として、トヨタ自動車株式会社製燃料電池モジュールを使用した明治電機工業株式会社製「50kW 純水素型定置式FC 発電システム」を導入し、2023年1月から再び「水素ホテル」として水素発電を行うことを決定しました。

本市における水素活用のモデルケースとして、先導的役割を担ってきた同ホテルが、**技術実証からいよいよ社会実装の段階へと進みます。**

・添付資料 東急ホテルズ ニュースリリース文 4枚



川崎キングスカイフロント東急REI ホテル



昨年まで稼働していた純水素型燃料電池

【問合せ先】

川崎市 臨海部国際戦略本部 成長戦略推進部 篠原
電話 044-200-2095

川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル 新たなスキームで水素燃料電池ユニットを更新、水素発電を継続します

株式会社東急ホテルズ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:村井 淳、以下「東急ホテルズ」)は、運営する川崎キングスカイフロント東急 REI ホテルで、2018 年の開業時より環境省の実証事業に参画し、ホテル内の約 30%の電力を水素で賄う「世界初の水素ホテル」として CO2 の削減に貢献してまいりましたが、今般、新たなスキームで水素燃料電池ユニットを更新し、2023 年 1 月より水素発電を継続することを発表いたします。

川崎キングスカイフロント東急 REI ホテルは、2018 年の開業時より、川崎市の「臨海部ビジョン」(※1) 及び「川崎水素戦略」(※2)のもと、昭和電工株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:高橋 秀仁)と協力し、環境省の「地域連携・低炭素水素技術実証事業」(※3)に参画。ホテル内の約 30 %の電力を水素で賄っておりましたが、この実証事業が 2022 年 3 月 31 日をもって終了するにあたり、CO2 の削減を維持できる方法を模索してまいりました。

2021 年 9 月 15 日、同ホテルは環境省の「脱炭素社会構築に向けた再エネ等由来水素活用推進事業」に採択され、「水素サプライチェーン社会実装支援事業」(※4)として、トヨタ自動車株式会社製燃料電池(FC)モジュールを使用した明治電機工業株式会社製の「50kW 純水素型定置式 FC 発電システム」を導入し、2023 年 1 月より再び「**水素ホテル**」として水素発電を継続することを決定しました。



川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル



昨年まで稼働していた純水素型燃料電池

東急ホテルズでは 2019 年に「サステナブル方針」(※5)を制定し、“地球にやさしいホテル・まちにやさしいホテル・ひとにやさしいホテル”を掲げ、ホテル事業を通じて「持続可能な社会」の実現を目指し、さまざまな取り組みを行っております。また、このたびサステナブル方針に基づいて、より具体的な「アクションプラン 2022」(※6)を設定しました。今後、運営する全ホテルに共有し、目標達成に向け、進めてまいります。

※1 <https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000096607.html>

※2 <https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/57-1-16-0-0-0-0-0-0.html>

※3 https://www.env.go.jp/seisaku/list/ondanka_saisei/lowcarbon-h2-sc/demonstration-business/

※4 https://www.env.go.jp/seisaku/list/ondanka_saisei/lowcarbon-h2-sc/index.html

※5 東急ホテルズ「サステナブル方針」については別添資料参照

※6 東急ホテルズ「アクションプラン 2022」については別途リリースしております

【純水素型燃料電池 概要】

形式：FC-050M-0

燃料電池方式：固体高分子型

設置サイズ：W4,000 × H2,500 × D2,400 (mm)

重量：5ton 以下

出力電源仕様：AC210V 最大 49.9KVA 50/60Hz

設置場所：屋外

水素供給要求圧力：0.75～0.99Mpa

水素ガス要求純度：99.97%

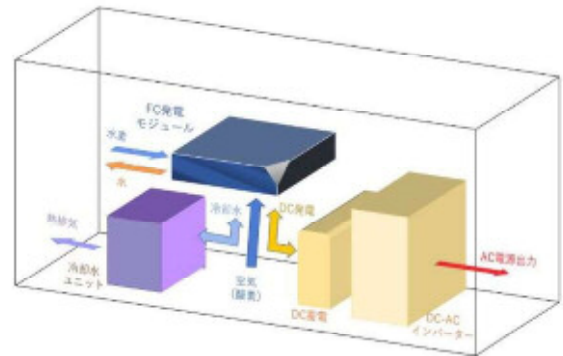
1年間の発電量：350,000kWh

1年間のCO₂排出削減量：175,000kg（杉の木に換算して12,500本分の効果）

※年間稼働率8割想定

※電力消費時のCO₂排出係数は0.5kg-CO₂/kWh

※開発中のため記載内容は変更となる場合があります



明治電機工業株式会社 50kW 純水素型定置式燃料電池発電機導入イメージ

【低炭素水素サプライチェーン実装】

1. 水素を「つくる」（製造）

昭和電工川崎事業所における、プラスチック・リサイクル設備の活用

2. 水素を「はこぶ」（輸送）

川崎臨海部に設置された、水素パイプラインの活用

3. 水素を「つかう」（利用）

純水素燃料電池の設置により、CO₂フリーな電気をホテルで利用

■明治電機工業株式会社

所在地：愛知県名古屋市中村区亀島二丁目13番8号

代表者：代表取締役社長 杉脇 弘基

会社概要：日本の「ものづくり」を支え続けて100年。1920年の創立当初より“日本の「ものづくり」を強くする”ため事業を展開。水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する「水素バリューチェーン推進協議会」にも加入しております。

公式ウェブサイト：<https://www.meijidenki.co.jp/ja/index.html>

■川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル

所在地：神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-11

電話：044-280-1090（代表）

施設概要：客室 186 室、レストラン、ビジネスラウンジ&カフェ、会議室、大浴場

アクセス：JR 川崎駅から無料シャトルバス約 20 分、京急大師線 小島新田駅から徒歩約 15 分

公式ウェブサイト：<https://www.tokyuhotels.co.jp/kawasaki-r/>

■東急ホテルズ 概要

会社名：株式会社東急ホテルズ

所在地：東京都渋谷区道玄坂 1-10-7 五島育英会ビル 3 階

代表者：代表取締役社長 村井 淳

設 立：2001 年 1 月 9 日

東急ホテル、エクセルホテル東急、東急 REI ホテル、およびパートナーホテルを含め全国に 48 店舗展開。

公式ウェブサイト：<https://www.tokyuhotels.co.jp>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

東急ホテルズ 事業統括本部 広報・デジタルコミュニケーショングループ 高田

電話：03-3477-6566／メールアドレス：s.takada@tokyuhotels.co.jp

東急ホテルズ サステナブル方針

私たちは、サステナブル方針として“地球にやさしいホテル・まちにやさしいホテル・ひとにやさしいホテル”という3つのサステナビリティ（目指す姿）と6つのサステナブル重要テーマ（社会課題の中から重点的に取り組んでいくテーマ）を定め、SDGs（持続可能な開発目標）の観点を深く認識しながら、ホテル事業を通じて「持続可能な社会」の実現に貢献してまいります。

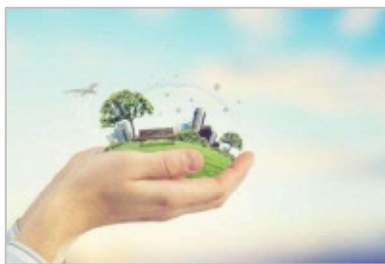
3つのサステナビリティ（目指す姿）

地球にやさしいホテル



地球環境に負荷の少ないホテルを目指して、グリーンコイン活動や水素エネルギーを活用したホテルの運営、食品廃棄物の削減やリサイクルなどで脱炭素・循環型社会の実現に貢献します。

まちにやさしいホテル



地域に根ざした愛されるホテルを目指して、地域のお祭りや行事に積極的に参加したり、災害時の帰宅困難者受入れや営業の早期再開などを通じて地域の発展に貢献します。

ひとにやさしいホテル



“居心地のいいホスピタリティ”の提供を目指して、ユニバーサルルームやベジタリアンメニューなどを充実させるとともに、働きやすい職場づくりや人材育成を通じてホテルの財産である“人”づくりを進めます。

6つのサステナブル重要テーマ

脱炭素・循環型社会	4	5	6	7	9	12	13	15	17	まちづくり	11	17	
安全・安心				8	9	11				居心地	3	4	9
ひとづくり				3	4	5	8			企業統治・コンプライアンス	9	15	